

未来に向けて生成 A I を業務に活用 ～ 全庁的な活用実証とワーキングチームの設置 ～

チャット G P T 等の生成 A I を巡る技術革新が進み、現在、国や一部自治体において業務への利活用の検討が進められています。本市においても、少子高齢化による労働人口の減少に備え、地域課題の解決、市民サービスの向上、行政経営の最適化などを効果的に進めるための手段の一つとして、生成 A I を試行導入し、全庁で各種業務への活用効果の実証を行います。

(1) スケジュール概要

令和5年7月 活用効果や運用ルールを検証する庁内組織「伊達市生成 A I ワーキングチーム」の立ち上げ

実証実験開始（7月下旬～9月末を予定）

9月 各課等から実証結果の報告、職員アンケートの実施

10月 活用効果の検証及び、本格導入について協議

(2) 効果が期待される活用シーン

- ① 文案作成や文章要約、読み手に応じた表現の提案
- ② 企画立案のアイデア出し、実施スケジュールの提案
- ③ 目的に応じた調査・分析手法の提案
- ④ 業務で利用するアプリケーションの活用指南



(3) その他

職員個人が、新たにチャット G P T のアカウントを取得する必要がなく、組織のアカウントを使用するため、安全に業務での利用ができます。

問合せ

総務部デジタル変革課
電話 024-575-1159